

## **2. 6. 報告書**

### **I. 報告書の形態**

実習の報告書は、名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻のウェブページ (<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/nichigen/>) から、教育実習の項目へのリンクが張られており、そこに 1998 年以降の実習報告書がリンクされている。

今回、実習報告書を作成するに当たって、これまで HTML で処理されていたものを PDF ファイル形式で載せることに決めた。その理由としては、HTML は環境によって随分と文書の配置が変わってしまい、報告書などの文書を載せる形態としてはふさわしいとは言えないことが挙げられる。また、実習前のミーティングで過去の実習の報告書をプリントアウトした際にも体裁に乱れが見られたため、使いづらかった。利便性という意味では、HTML 形式の方が優れてはいるが、PDF ファイルもかなり普及しており、大きな問題はないと判断した。

### **II. 担当箇所**

1 月の中旬に、報告書作成に関するミーティングを行い、実習生がそれぞれ相対的に深く関わった項目を分担して記述、自らの実習研究レポートと共に doc 形式に提出し、pdf ファイルへと変換した。以下に、担当箇所を挙げる。

春季教育実習：太田

概要：大島 渉外（外部）：稲田・太田 渉外（内部）：林

文書作成：国沢・越賀 会計・備品：長谷川 書記：河口

報告書：大島 調査（第一段階）：河口 調査（第二段階）：越賀

Aクラス報告書：長谷川・林 Bクラス報告書：河口・越賀

Cクラス報告書：大島・太田 Dクラス報告書：稲田・国沢

<大島>